

2024年度予算人員要求書の提出・要請行動を実施

(2023年11月16日付区職労ニュースより抜粋)

10月17日、2024年度予算人員要求書提出・要請行動を実施しました。区側は高際区長、区職労からは組合員36人が出席。参加した組合員が職場状況等について区へ要請しました。

主な要請内容

1. 長時間労働縮減

今年1月、総務部長名で各所属長に「庶務事務システム等により、職員の出退勤時刻等を把握した上で、適宜確認を行い、必要な申請を促すこと」を求める通知が発出された。この通知内容を徹底するとともに「パソコンの使用時間も含めた」客観的な記録も基礎とするべきと考える。

2. 土日開庁縮減・廃止と土日出勤の取扱い

職員の働き方として、土日の勤務は職務上、やむを得ない例外的な取扱とするべきと考える。

3. ハラスメント・メンタル不全対策

あらゆるハラスメントは許さないという区の姿勢が重要。職場に起因したメンタル不全を減らすこと、安心して復帰できる体制整備が必要。

4. 育児休業等取得者数を考慮した計画的な職員採用

育休取得者を考慮して、年度当初から計画的に職員を採用することが必要。特に専門職の職員が育休取得した場合の代替確保は課題であり、育休や業務継承を見越した専門職の採用を求める。

5. 業務量に見合った正規職員増員

課題を解決する基本として、業務量に見合った正規職員を増やすことが必要。正規職員を増やすことと、職場環境改善を両輪で行っていくことにより、若い人材が区役所で働いてみよう、働き続けよう続けようと思える職場環境作りが可能となる。